



川越

2021年7月

農委スポット情報



◇地域農業者紹介◇

今回は、福原地区「YoShiDa ファーム」の吉田駿介さんをご紹介します。

吉田さんは、高校生の頃、部活を引退した後に父の農作業の手伝いを始め、その後農業大学校を経て実家に就農しました。

こだわりのかぶ、枝豆、ほうれん草を栽培しており、取材日にはかぶの出荷作業をされていました。おいしい野菜を作ることに誇りと喜びを持ち、毎日がんばっています。

裏表紙に吉田さんへのインタビューの内容を掲載していますので併せてご覧ください。

主な内容

- ◇農地パトロールについて…………… 2
- ◇農業者年金について…………… 3

- ◇農家状況調査について…………… 2
- ◇農政課からのお知らせ…………… 5

今年も農地パトロールを実施します



農業委員会では、8月上旬に、農業委員・農地利用最適化推進委員による、市内全域の農地の利用状況調査（農地パトロール）を実施します。

農地パトロールは、農地の利用状況を確認するとともに、遊休農地の実態を把握し、その発生防止や解消につなげることを目的としています。

調査の結果、遊休農地と判断された農地の所有者に対しては、適正管理を促したり、利用意向の確認を行うこととなります。

農地パトロール前の耕うん、除草等にご協力をお願いします。

遊休農地

とは

- ① 1年以上にわたり農作物の作付けが行われておらず、
今後も農地の維持管理や農作物の栽培が行われる見込みがない農地
- ② 周辺地域の農地と比較して、利用の程度が著しく劣っている農地

農家状況調査にご協力をお願いします

今年も10アール（1,000㎡）以上の農地を経営している農家の方を対象に、農家状況調査を実施します。本調査は、農地台帳を更新するために毎年実施するもので、農地台帳登載証明（農家証明）等各種証明書の発行、農業委員会の業務全般に活用します。

【調査方法】 農業委員会事務局からご自宅に調査票を郵送します。

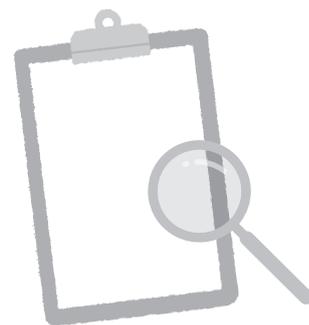
【発送時期】 9月を予定

【記入方法】 調査票には、前年度にご回答いただいた所有農地の作付状況、農家世帯の構成員、農業従事日数、農業機械の所有状況等が記載されています。内容をご確認いただき、同封の記載例を参考にご記入をお願いします。

（所有者、地番等の農地情報は令和3年1月1日時点の登記簿を基にしています。）

【提出方法】 調査票を同封の返信用封筒で、農業委員会事務局に返送してください。

（今年度から押印は不要です。返送のみお願いします。）



農業者年金に加入しませんか

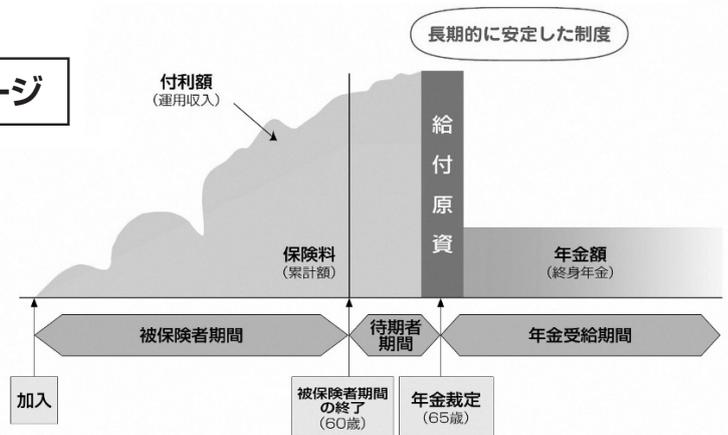
農業者年金とは、国民年金に上乘せすることで、将来もらえる年金額を増やすことを目的に作られた農業者のための公的な年金制度です。

農業者年金の特徴とメリット

- ①年間60日以上農業に従事する60歳未満の方で、国民年金第1号被保険者の方（国民年金の保険料納付免除者を除く）ならばどなたでも加入できる！
- ②終身年金！（80歳前に亡くなられた場合は死亡一時金あり）
- ③保険料（月額2万円～6万7千円）は自由に決められる！
- ④税制優遇が大きい！（保険料が全額社会保険料控除の対象）
- ⑤一定の要件を満たす農業者には保険料の国庫補助がある！

農業者年金（積立方式・確定拠出型）のイメージ

（注）この図は、農業者老齢年金の資産運用をイメージしたものです。
また、実際の運用成績は、その時々々の運用環境などにより変動します。



加入をご検討される場合は、農業委員会事務局またはお近くのJA各支店にお気軽にお問い合わせください。

産業廃棄物指導課からのお知らせ

▶ 高濃度PCB（ポリ塩化ビフェニル）を使用したコンデンサーを探しています。

高濃度PCB廃棄物の処分期限が迫っています。まもなく処分ができなくなります。

コンデンサーは、乾燥用モーターや揚水ポンプの力率を改善する目的で、配電盤等に設置されています。下記すべてに該当する場合は、産業廃棄物指導課まで至急ご連絡ください。

- ・昭和52年（1977年）より前に設置された設備
- ・昭和28年（1953年）～昭和47年（1972年）に製造された設備
- ・設備内にコンデンサーが組み込まれている



連絡先 ▶ 産業廃棄物指導課 ☎ 239-7007（直通）

川越市賃借料情報

令和2年1月から令和2年12月までの川越市内の農地の賃貸借と使用貸借の件数の割合は、賃貸借10.7%、使用貸借89.3%です。地区別の10aあたりの賃借料については下表のとおりです。なお、この情報はあくまで参考であり、賃借料を決める場合は水利費等も含め貸主、借主でお互いによく話し合ってください。

※賃貸借とは賃借料（物納を含む）が発生する農地の貸し借りのことです。使用貸借とは賃借料が発生しない無償の農地の貸し借りのことです。

	田				畑			
	単位 (件)	単位 (円)			単位 (件)	単位 (円)		
	データ数	平均額	最高額	最低額	データ数	平均額	最高額	最低額
市全域	17	5,456	11,000	1,500	15	7,365	22,000	1,200
芳野	5	5,960	6,600	5,000	-	-	-	-
古谷	7	8,829	11,000	6,600	-	-	-	-
福原	-	-	-	-	10	11,830	22,000	5,300
山田	-	-	-	-	5	2,900	4,300	1,200
川越	5	1,580	1,800	1,500	-	-	-	-

上表の集計上の 注意点

- ・データ数は、集計に用いた筆数です。データ数が5件未満の地区は表示しておりません。
- ・集計には、農地法と農業経営基盤強化促進法による賃借料を合算して集計しています。
(法人による賃借は除外しています。)
- ・金額は、平均額の±70%に比べて低額あるいは高額な賃借料を除外して再計算した金額です。
- ・物納の場合は、米60kgを13,200円に換算しています。

農業委員会事務局人事異動

令和3年4月1日付け

【教育委員会部局へ出向】

学校教育部参事

○石田 秀樹 (事務局長)

【市長部局へ出向】

環境部環境施設課

東清掃センター所長

○山本 勇志 (管理担当主幹)

市民部市民課副主幹

○横山 大造 (調整担当副主幹)

【着任】

○忍田 久夫 (事務局長)

○神立 寛司 (管理担当主幹)

○萩原 和夫 (調整担当副主幹)

【昇任】

○酒井 亮 (管理担当主任)

○山本 和慶 (農地担当主任)

「令和3年度川越市における農地
利用最適化の推進に係る施策等に
関する意見書」に対する回答

令和2年10月19日に川越市長
へ提出した「令和3年度川越市
における農地利用最適化の推進
に係る施策等に関する意見書」
に対し、令和2年12月18日付け
で回答がありました。

意見書及び回答につきまして
は、川越市農業委員会のホーム
ページに掲載しています。

全国農業新聞を
購読しませんか？

【発行日】

毎週金曜日

【購読料】

月額 700円

【お申込み】

農業委員会事務局まで

TEL 049-224-6134



農政課からのお知らせ

稲刈りの後は、すぐにトラクターで耕うんを

一昨年、令和元年度東日本台風により、水田に残っていた稲わらが流され、一部のほ場に大量に堆積するという事態が発生しました。撤去が必要となった農業者にとっては、大変な負担となりました。

また、刈り取り後の株から生えてくるひこばえ（再生稲）は、ウンカなどの害虫の栄養源や越冬場所になるほか、野生鳥獣の餌になる場合もあります。

周囲の水田に迷惑をかけないために、また病気や鳥獣被害を防ぐためにも、稲刈りの後は、すぐにトラクターで耕うんするようにしましょう。

自然災害により施設や農作物が被災したとき

台風や大雪、降ひょうなどの自然災害により、ハウスや倉庫、果樹棚、農作物などに大規模な被害が発生した場合、支援の対象となる場合があります。

農業施設や農作物が被災した際は、農政課へご相談ください。

問い合わせ先 農政課 経営支援担当 市役所本庁舎5階 ☎224-5939（直通）

「農ある生活」農業に関する情報のメール配信サービスを実施中

川越市メール配信サービス「農ある生活」を実施中です。川越市農政課から、農業者の皆さまに直接情報をお届けしております。

市の農業事業や農業災害の対応など各種情報を配信する予定です。
ぜひ、ご登録ください。



問い合わせ先 農政課 農業振興担当 市役所本庁舎5階 ☎224-5939（直通）

インタビュー

interview

Q. 就農を決意されたきっかけを教えてください。

A. 元々農家出身なので、高校の部活の引退後、家の手伝いから始めました。ある時、自分で作った枝豆がおいしいなと思い、それから徐々にめりこんでいきました。また、長男なので、父が守ってきたものを自分も継承していきたいという使命感も出てきました。

Q. 栽培品目は何ですか？

A. 主に夏には茶豆風味の枝豆、秋にはサラダかぶ、冬にはほうれん草を栽培しています。土づくりからこだわっており、ネット販売で全国の方から高評価をいただいています。この評価が励みになるとともに自信にもつながっています。



玉のように白く美しいかぶ。品評会で川越市長賞を受賞しました。



試作品の「かぶのビシソワーズ」。他に漬物も試作している。

Q. 将来の夢はありますか？

A. フードロスの問題に関心があり、これを解消するために六次産業化を目指したいです。見た目の悪い野菜は

昨年7月号でご紹介した田中洋史さんからメールをいただきましたので、ここでご紹介します。

「何年も遊休農地だった田んぼを開拓し一年。今ではこのように菜の花がたくさん咲き、犬の散歩をする人、花を見に来る人、写真を撮りに来る人と沢山の人の出入りが見受けられるようになりまして。また、この田んぼの道路脇は大東東小学校の通学路にもなっており、通学で通る小学生にもコロナに負けず今日一日を楽しく過ごしてもらえるように、笑顔が増えるようにという想いも込めて植えました！私の娘もここを通り大東東小へ通学しています。またこの菜の花は、緑肥となり今年作付けするお米の肥料となります！この田んぼは無化学肥料に挑戦する予定です。そしてこのお米もよりたくさんの人に食べてもらいたいと考えています。」



出荷できないので、廃棄せざるを得ません。ですが、加工品にすればおいしく食べられます。一生懸命作った野菜を廃棄するのは悲しいので、何とかできないかと思いつき、六次産業化を考えました。

農委スポット情報では、「農業に関する情報」を募集しています。地域のイベント、取組等がありましたら、農業委員会事務局までご連絡ください。